

KTX株式会社

「じゃない方事業部」による電気鋳造金型の解析技術から生まれた止水板の開発・事業拡大

代表者：代表取締役社長 野田太一

所在地：愛知県江南市安良町地蔵 51 番地

電話番号：0587-54-5131

URL：https://www.ktx.co.jp



革新的な開発に挑戦する「じゃない方事業部」の立ち上げ

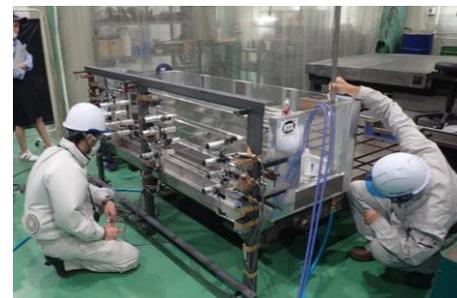
止水板開発のきっかけとなったのが、自社工場への浸水防止するために大手メーカーの止水板の見積りを取得したこと。すると、我々が製造業の感覚で想定していた価格を大幅に上回り、自社の技術を応用すれば製造は十分可能のように思われた。そこで、自社の強みを活かしつつも革新的な製品開発に注力できる「じゃない方事業部」を立ち上げ、設計、製造、現地調査、設置まで自社で行える体制を構築。改良を重ね完成版となったのが「スーパー止水番2®」である。



止水板「スーパー止水番2」

世界屈指の解析技術・製造技術で高品質×低価格を実現

金型の製造にあたり低価格化を実現するために必要な強度を確保しながら部材を減らすことを追求してきた。この構造解析技術を利用することで止水板もシンプルかつ少ない部材での構成となり低価格化を実現。製造技術においても建築土木業界の基準JISA0003では建築公差の単位は10mm～であるが、自動車業界では寸法公差は通常 ± 0.2 ミリ程度。この高い品質管理基準で製造された止水板の精度はJISA4716漏水量評価の最高等級Ws-6相当となる。



第三者機関による浸水防止試験の様子

防災事業の拡大による更なる社会貢献を目指す

「スーパー止水番2®」は順調に事業としての成長を続けている。最近では浸水被害が社会問題になっているマレーシアの企業からも問い合わせがあった。弊社の子会社があるタイ国への拡販も計画している。事業も「建物の浸水対策」から「地域の洪水、高潮、津波対策」に広げ、高さ2mに対応した防潮板や津波発生時に避難するための津波救命艇を開発した。継続的な事業の拡大と更なる社会貢献を目指し、今後も積極的に革新的な製品を開発していく。



新たに開発した救命艇と防潮板

評価のポイント

新たな事業に挑戦する「じゃない方事業部」において、コアコンピタンスである電気鋳造金型の解析技術を活用して、建物への浸水を防ぐ止水板「スーパー止水番2®」を商品化。気候変動による災害対策などの社会課題解決に対応した防災分野へ事業を拡大したことが評価されました。